

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(県居小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 委員の意見を反映できる運営体制を整える(資料事前配布・授業参観など)
- ボランティア組織「県居小サポーター」の活動を軌道に乗せ、充実させる。
- 「県居に学んだことを誇りに思う活動」をより充実させる。
(伝統ある様々な活動の維持、時代のニーズに合った活動の提案等)

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 第1回で、校長先生から学校の基本方針について丁寧に説明を受けたことで、建設的な意見を含め、たくさんの熟議ができた。また、「県居小いじめ防止基本方針」の存在を知ることができ、学校の取り組み内容が確認できてよかった。
- 協議会前に資料配布することにより、各委員が事前に質問事項や意見をまとめることができ、前年度より活発に熟議することができるようになった。
- 学校評価(中間報告)により、学校の進捗状況を把握した上で、具体的に何を重点的に改善するか熟議することができた。また、県居小児童のカラーと大人(親や教師)が期待するものとの下隔たりを再認識することができた。
- 「学校評価」についてももう少し丁寧に分析をしたうえで議論できれば、2学期や次年度や繋げられ、より熟議が充実すると思った。(アンケート結果の分析方法について検討)
- 十分で効果的な熟議を行うには、的を絞った議論にするなど何らかの対応の必要があると思われる。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 県居小サポーターの活動をスタートできたことが何よりの成果である。学校と地域との協力、役割分担を考える第一歩になった。今後は、この組織をより良いものにするために熟議を進めたい。
- 今年度は先生方と話し合ったり、授業の様子を見たりする機会があり、先生方の考え方や子供たちの様子への理解が進み、具体的に深い熟議ができた。特に、子供たちの様子を「挨拶」などに関する問題では、具体的な方法を含む活発な熟議ができた
- ボランティアの体制ができたばかりで、十分な熟議、対応ができたとは言えなかった。今年1年の活動を通じてある程度ボランティア体制について把握できたので、来年度はより活発な熟議、対応ができるのではないかと。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 「県居小コミスクだより」の地域回覧を行っているが、学校運営協議会の認知度はまだまだ低いと思う。今後の課題だと思う。
- 協議会の情報発信については、どのような方たちに、協議会における協議のどのような情報を発信すべきか、検討・協議する必要がある。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

R6年度の目標

- 学校運営基本方針のより深い熟議、それを可能とする協議会運営の構築
- 運営協議会として、地域の方たちによる支援活動との関係、役割分担の明確化

↓

- 「県居小サポーター」の運営方法改善検討・地域・学校がつながる活動を充実させる
- 学校運営協議会として積極的な情報発信をしていく。(情報発信の方法と内容の検討)